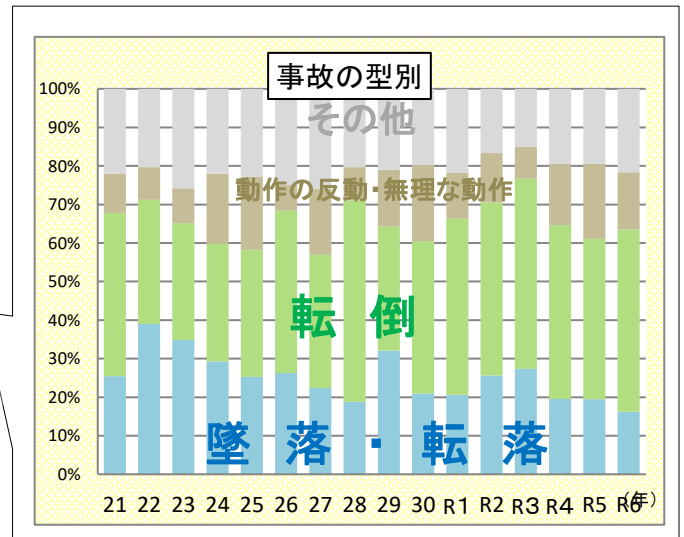
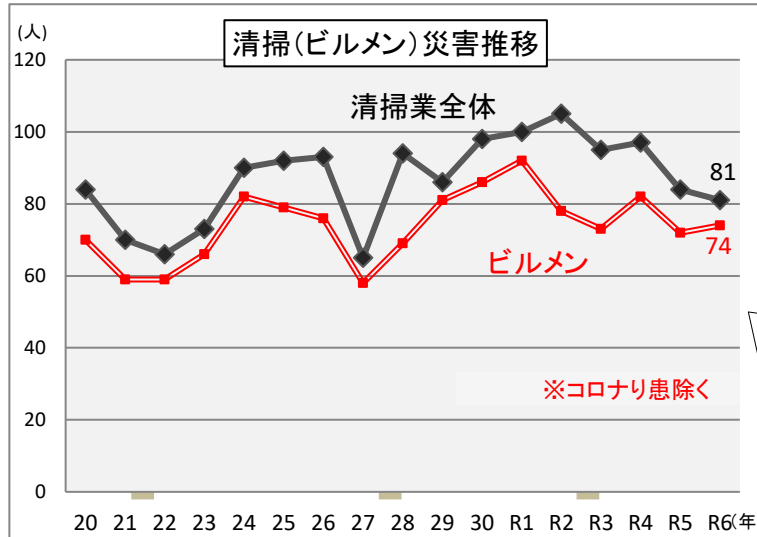


清掃作業等における転倒、墜落・転落災害を防ぐために

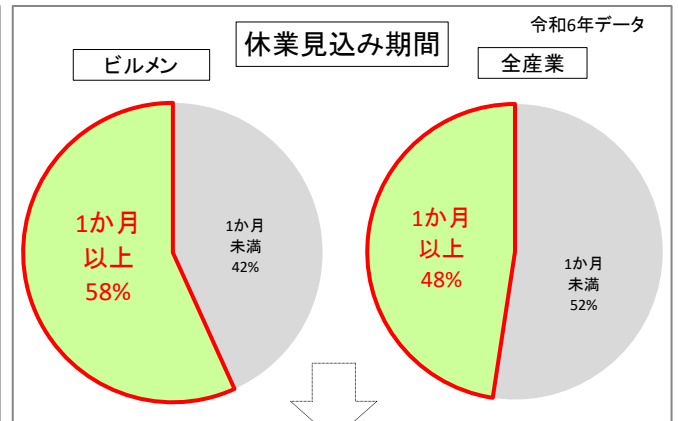
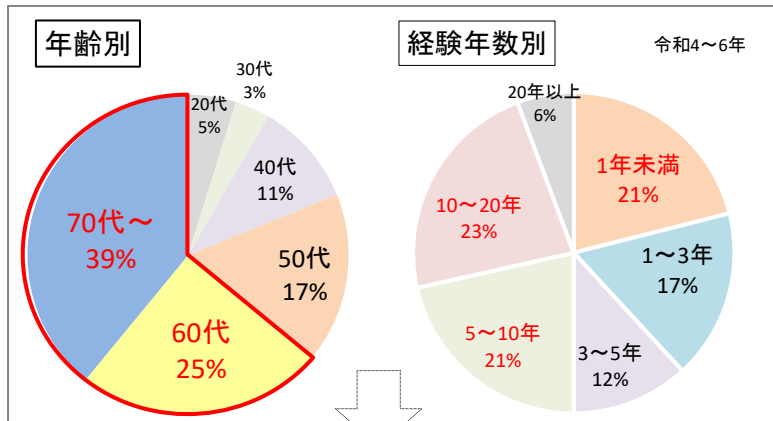
<通路・床での転倒、脚立・階段での墜落・転落防止>

管内（新宿、中野、杉並区）のビルメンテナンス業の労働災害

◇令和6年のビルメンテナンス業は前年より増加、転倒、墜落・転落で6～7割



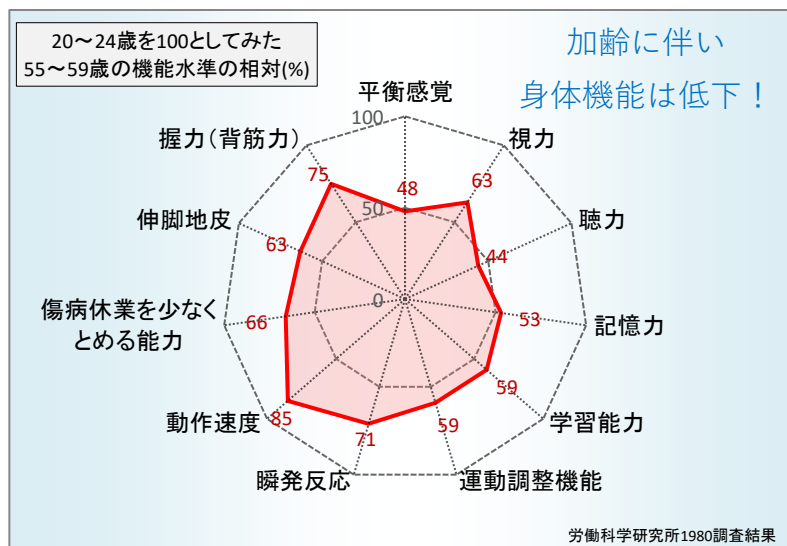
◇高年齢労働者の被災が圧倒的に多く、ケガによる重篤度(休業期間)も重い



高齢労働者の被災の割合が非常に高く、経験問わず発生

大きな怪我につながり、休業が長くなる(退職するケースも)

高年齢労働者への配慮→エイジフレンドリーな職場づくり



転倒、墜落・転落災害に影響

平衡感覚・・・バランス崩す
視力・・・段差の認識
脚力・・・歩行力低下、踏ん張れない
動作反応・・・とっさに手が出ない
回復力・・・骨折等重篤になる
休業期間が長期化

①労働者本人の自覚
②加齢を考慮した対策

墜落・転落災害のポイント

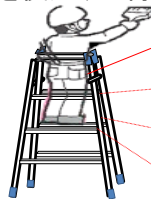


◇作業の前に検討！

※脚立等を使用する作業をなくす(高所用ワイパー等活用)

・どうしても使用の場合は・・・

【脚立を使用する際のルール】を定め、遵守させる



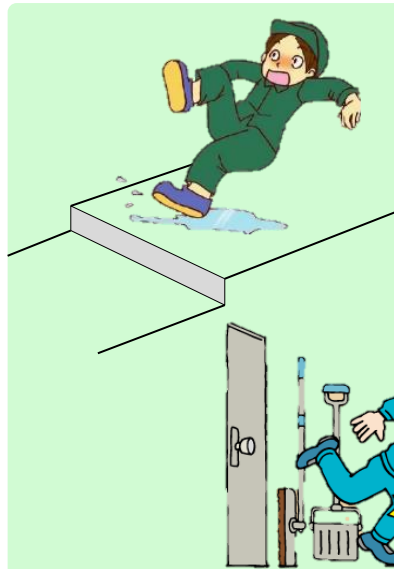
- 身を乗り出さない(位置を直す)
- 天板作業禁止
- 反動のある作業をしない
- 3点(両手足のうち3点)支持での昇降

◇労働者に教育を！

- ・脚立使用のルールを教育
- ・階段は急がない・走らない、昇降時の足元確認(特に1段目)
- ・可能な限り階段の手すり掴みながら昇降



墜落・転落災害のポイント



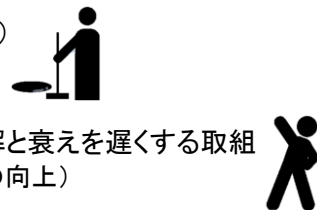
◇作業の前に検討！

- ・床の水濡れふき取り
- ・洗浄中の床への立入禁止
- ・滑りにくい作業靴の着用
- ・作業前の準備体操



◇労働者に教育を！

- ・水気を確認したらすぐ除去(道具の備え)
- ・通路を常に確保
- ・慌てない、急がない(足元確認)
- ・転倒の危険性、身体機能の衰えの理解と衰えを遅くする取組(適度な運動、筋力維持、バランス機能の向上)



転倒、腰痛等の行動災害

(労働者の作業行動を起因とする労働災害)の予防対策の推進

特に三次産業で労働災害が増加しており、「転倒」や「腰痛」等の行動に起因する災害(行動災害)が多くを占める。

企業・労働者の行動変容を促し、災害増加に歯止めをかける

「SAFEコンソーシアム」の設立

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアム ポータルサイトの活用

SAFEとは？

SAFEコンソーシアム

シンポジウム

アワード

現場視察

転倒予防川柳

動画

SAFE

safer
action
for
employees

SAFEアワード

受賞事例が決定しました

結果発表はこちら

SAFEコンソーシアムシンポジウム

発表レポートはこちら

各種動画を多数配信

転倒・腰痛予防対策動画

安全衛生教育動画

SAFEコンソーシアムポータルサイト

高齢労働者対策

高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン

高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点からの高齢労働者の健康づくりを推進

働く高齢者が増加！

60歳以上の労働災害1/4以上！
災害発生率が高年齢層で高い！

高齢者の就業状況や業務内容に応じて
実現可能な対策を

ポイント①

『トップの方針表明』と推進するための『体制整備』

ポイント②

『職場環境の改善』

ポイント③

『体力や健康状況』の把握と対応

体力チェックの実施

ポイント④

『安全衛生教育』

時間をかけ丁寧に、わかりやすく
(図、イラスト、映像)

体力チェックの方法、ガイドラインの詳細について

Safe World
TOKYO

第14次労働災害防止計画(3年度)推進中

～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

新宿労働基準監督署 R7.4作成